

1 取付けの確認

取付けの対象になるドアが以下の条件を満たすことをご確認ください。

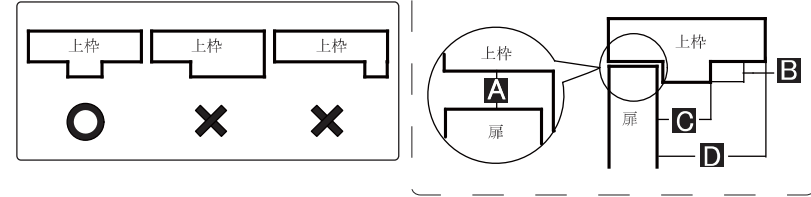
□check 1 一般住宅用木質内装ドアである。

玄関ドアや金属製のドアには取付けできません

□check 3 図の上枠の断面形状が凸型である。

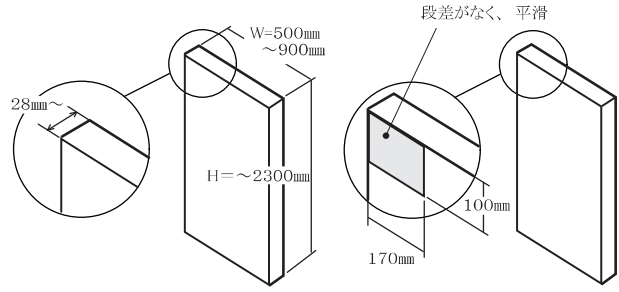
□check 2 扉サイズが下図の範囲内である。

また、開き戸ダンパー取付部分に段差や明かり窓、目地やモールなどがあると取付けができません

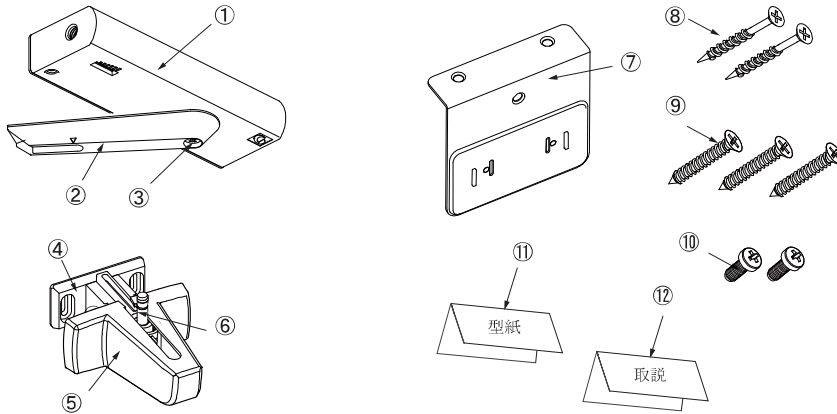


□check 4 上図の4つの部位 (A ~ D) の寸法は下表の条件を満たす。

記号	部位	範囲
A	扉と上枠の隙間	(2mm以上 8mm以下)
B	上枠凸部の高さ	(25mm以下)
C	扉面から上枠凸部までの距離	(33mm以下)
D	扉面から上枠端部までの距離	(53mm以上)



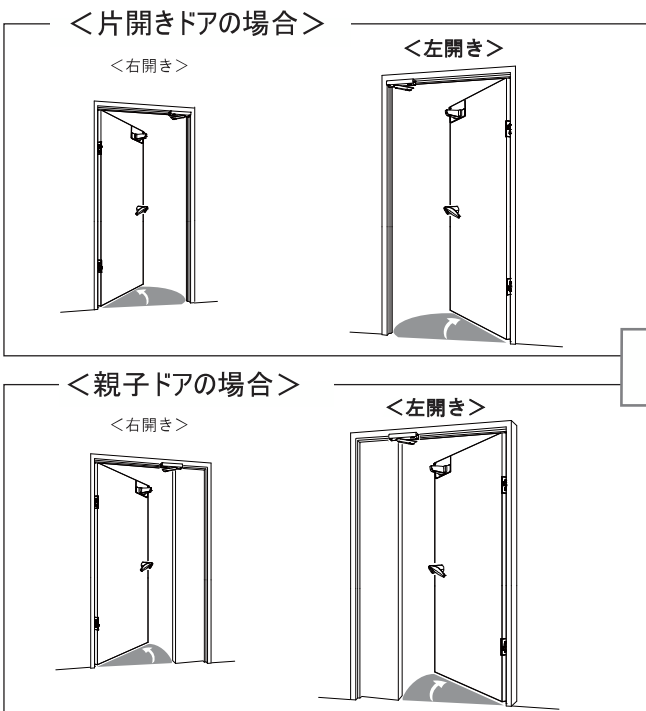
2 同梱部品



No.	部品名称	数量
①	本体	1
②	アーム	1
③	アーム取付けボルト	1
④	扉側金具	1
⑤	カバー	1
⑥	ピン	1
⑦	プレート	1
⑧	本体取付けビス	2
⑨	プレート取付けビス	3
⑩	扉側金具取付けビス	2
⑪	取付型紙	1
⑫	取付説明書	1

3 ドアの開き方向の確認

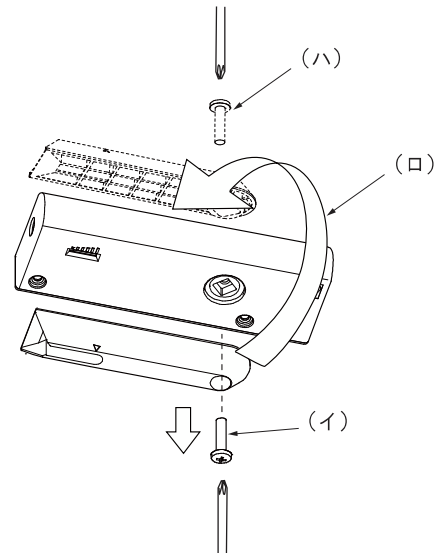
※右開きの場合は出荷状態にて、設定済です。



「左開き」の場合はアームを本体裏側に付け替えてください。

- ・(イ) アーム取付けボルト③を外します。
- ・(ロ) アーム②を本体裏側に取付けます。
- ・(ハ) アーム取付けボルト③を取付けます。

※ アーム取付けボルトは十分に締めつけてください。

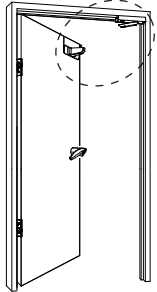


# 4 取付け手順

※以下の説明は右開きの場合について記載します。

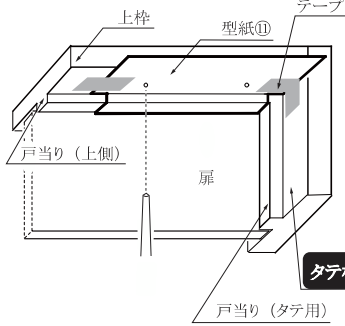
## <注意>

戸先側上部に金具を付けます。

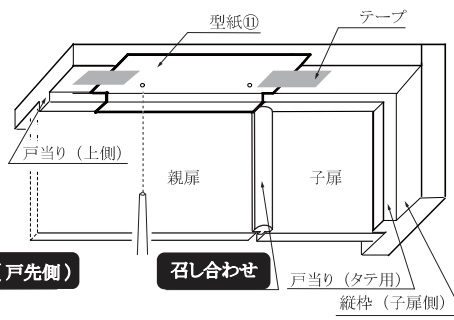


## [1] 取付け穴加工

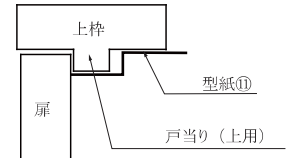
<片開きドアの場合> **タテ枠（戸先側）基準**



<親子ドアの場合> **召し合わせ基準**

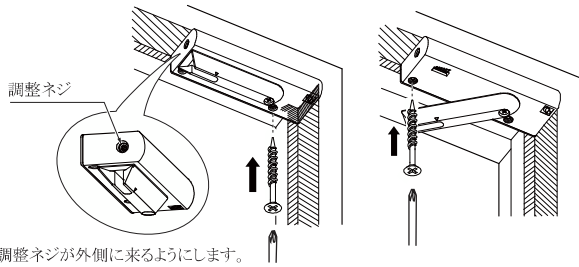


- ・ 同梱の型紙⑩の説明に従って、型紙⑩をセロハンテープ等で固定してください。
- ・ 決定した取付け穴に、ボンチ等で印を付けてください。



型紙⑩の折り曲げた部分は90°になるようにしてご使用ください。

## [2] 本体の取付け



- ・ 本体①を[1]で位置決めした取付け穴に、本体取付ビス③で取付けてください。（本体の向きは調整ネジが外側に来るようにします。）

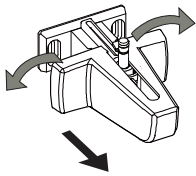
### 注意

アームを回転させた状態で、扉を閉めるとアームが当たって扉を傷つけたり、アームが破損したりしてしまいますので、ご注意ください。

## [3] 扉側金具の取付け

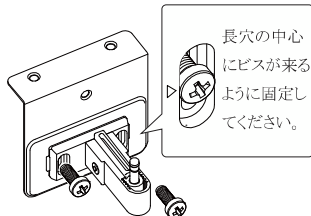
### 1 カバーの取外し

- ・ カバー⑤を外側に広げながら扉側金具④からカバー⑤を引きはがしてください。



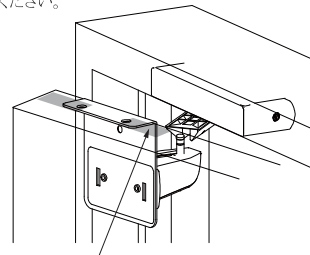
### 2 プレートへの固定

- ・ 扉側金具④を扉側金具取付けビス⑩でプレート⑦にしっかりと固定してください。

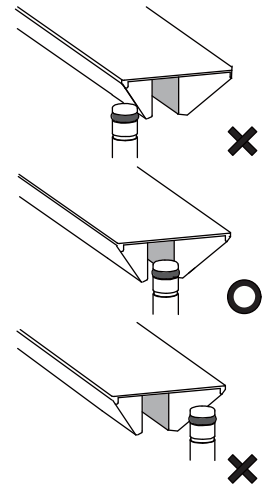


### 3 扉側金具取付け位置決め

- ・ アーム②を回転させてください。
- ・ 扉側金具④を下図のような位置に仮固定してください。

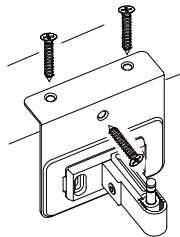


- ・ プレート⑦を手で押さえながら、扉を少しずつ閉めていき、アーム②とピン⑥の位置が下図のような関係になるようにプレート⑦の位置を調整してください。



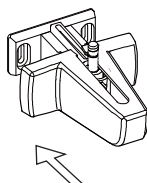
### 4 扉側金具の取付け

- ・ 3で決定した位置にプレート⑦をプレート取付ビス⑨で固定してください。



### 5 カバー取付け

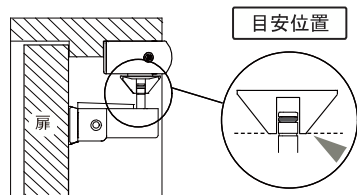
- ・ 1で取外したカバー⑤を取り付けてください。



### 6 作動確認

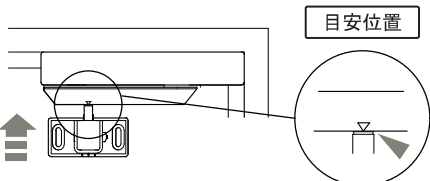
- ・ 扉をゆっくりと開閉させて動作の確認をしてください。また、下図のような<標準取付け位置>になっているか確認してください。
- ※標準取付け位置からずれている場合は、調整方法をご覧ください。
- ※扉を引きこむ速度も調整できます。

## <標準取り付け位置>

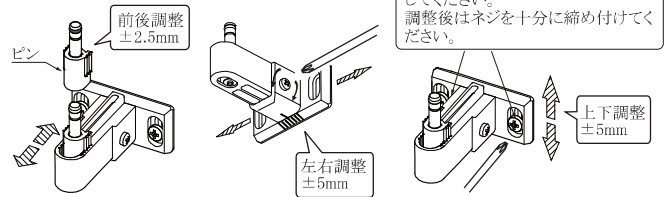


### 注意

▽印は目安位置になります。扉の幅によっては、左右がずれる場合があります。正常な作動位置へ調整してください。



## <位置調整>



## <速度調整>

